

事務事業名	消防音楽隊運営費										担当課	部課名	消防局消防総務課			
予算科目コード	会計	01	款	10	項	01	目	01	細目	002	説明	04	課等の長	築瀬 欣二	電話	8114

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市消防音楽隊の運営(音楽活動を通じて市民と連携を密にし、防火・防災意識の普及啓発や救命講習の受講促進、消防業務の推進に寄与することを目的とした活動)に要する費用。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市消防音楽隊規程				
事業実施内容	コロナ禍において多くのイベントが中止になった中、社会福祉施設でのイベント等に参加した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 737 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		報償費	225 千円	講師謝礼
		需用費	512 千円	楽譜の購入、楽器修繕
財源内訳	R3年度 支出済額 737 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他()				
一般財源	737 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト 支出	行政費用 A	10,028	10,520	9,350	10,065			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,136	10,511	9,354	10,064			
	事業費(支出済額)	500	792	647	737			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,636	9,719	8,707	9,327			
	①常時勤務職員等の給与等	9,167	9,141	8,166	8,909			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	469	578	541	418			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	9	-4	1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-108	9	-4	1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	23.36	429,317	24.29	433,060	21.49	435,121	22.93	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
	数値で表せない効果	消防音楽隊の活動により、市民の防火・防災意識の高揚につながる定性的効果は高いが、効果を数値化することができない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	消防局	氏名	衛守 玄一郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	--------	-----	-----------

事務事業名	庁舎等管理費										担当	部課名	消防局消防総務課			
予算科目コード	会計	01	款	10	項	01	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	築瀬 欣二	電話	8114

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	消防施設及び設備等の経常的な維持・管理を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等					
事業実施内容	消防施設を適切に管理するため、消防署所、消防防災訓練センターの修繕及び保守管理を実施した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容
	8,868 千円	需用費	4,560 千円	施設修繕費
		役務費	154 千円	施設賠償責任保険料
委託料		4,154 千円	各署所空調設備保守点検業務委託	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	8,868 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源		8,868 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト	行政費用 A	34,125	34,804	28,728	20,744
	(1)現金を伴う支出 (千円)	34,233	33,285	27,225	23,760
	事業費(支出済額)	16,234	12,746	9,811	8,868
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	17,999	20,539	17,414	14,892
	①常時勤務職員等の給与等	17,530	19,672	16,332	14,474
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	469	867	1,082	418
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	1,519	1,503	-3,016
	①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-108	1,519	1,503	-3,016	
③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他 ()	0	0	0	0	

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	79.49	429,317	80.37	433,060	66.02	435,121	47.26	438,968
----------------------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------

成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位
		-		-	
上記指標名の設定ができない理由		維持管理に係る事業のため、指標の設定ができない。			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	消防局	氏名	衛守 玄一郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	--------	-----	-----------

事務事業名	辻堂出張所改築整備事業費										担当課	部課名	消防局消防総務課			
予算科目コード	会計	01	款	10	項	01	目	03	細目	001	説明	04	課等の長	築瀬 欣二	電話	8114

1. 事業概要

事業開始年度	令和 3 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市南消防署辻堂出張所について、藤沢市公共施設再整備基本方針及び藤沢市公共施設再整備プランに基づき、辻堂市民センター・公民館等との複合化による再整備を進めたもの。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市消防署組織等規程						
事業実施内容	辻堂出張所は、昭和62年に建築され、老朽化が進行していたため、安全性確保の観点から再整備を進めたもの。また、前面道路の渋滞等により出動態勢が課題となっていたことから、災害時により緊密な連携を図り、地域防災の拠点として機能集約、複合化された辻堂市民センター・南消防署辻堂出張所に移転することで、消防・救急体制の整備と地域防災機能の強化を図った。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
	56,351 千円	費目	支出済額 (千円)		主な内容	費目	支出済額 (千円)
		需用費	8,304 千円		初度調弁	分担金・負担金	
		役務費	205 千円		産業廃棄物処理	使用料・手数料	
		委託料	12,166 千円		指令システム端末等移設	国庫支出金	
	工事請負費	33,612 千円	改築工事	県支出金			
	備品購入費	2,064 千円	初度調弁	その他 (消防債・基金繰入金)	38,837 千円		
財源内訳	56,351 千円			一般財源	17,514 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	0	81,622			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	75,586			
	事業費(支出済額)				56,351			
	償還金利息				581			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	18,654			
	①常時勤務職員等の給与等				17,818			
	②会計年度任用職員の報酬等				0			
	③退職金相当額				836			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	6,036			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				6,036			
	③不納欠損額				0			
④その他()				0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	429,317	0.00	433,060	0.00	435,121	185.94	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
	数値で表せない効果							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	事業縮小
今後の方針	新庁舎への移転が完了し、旧辻堂出張所の解体工事を実施したことから、工事による周辺への影響を調査するため、令和4年度に家屋調査を実施する。

6. 部長確認欄

部名	消防局	氏名	衛守 玄一郎	確認日	2022/8/17
----	-----	----	--------	-----	-----------